

あ が の がわ ち い き 阿賀野川が流れる地域の昔の暮らし ②

川での仕事



写真撮影：村上孟氏
写真所有：村上直行氏

阿賀野川中流での砂利採取の様子▲

かわ じゃり
さい しゅ ぎょう
採取業



荷物や人をのせて阿賀町
へ向かう帆かけ舟▼

かわ ぶね ぎょう
川船業

昔は多くの人々が川で働いていた

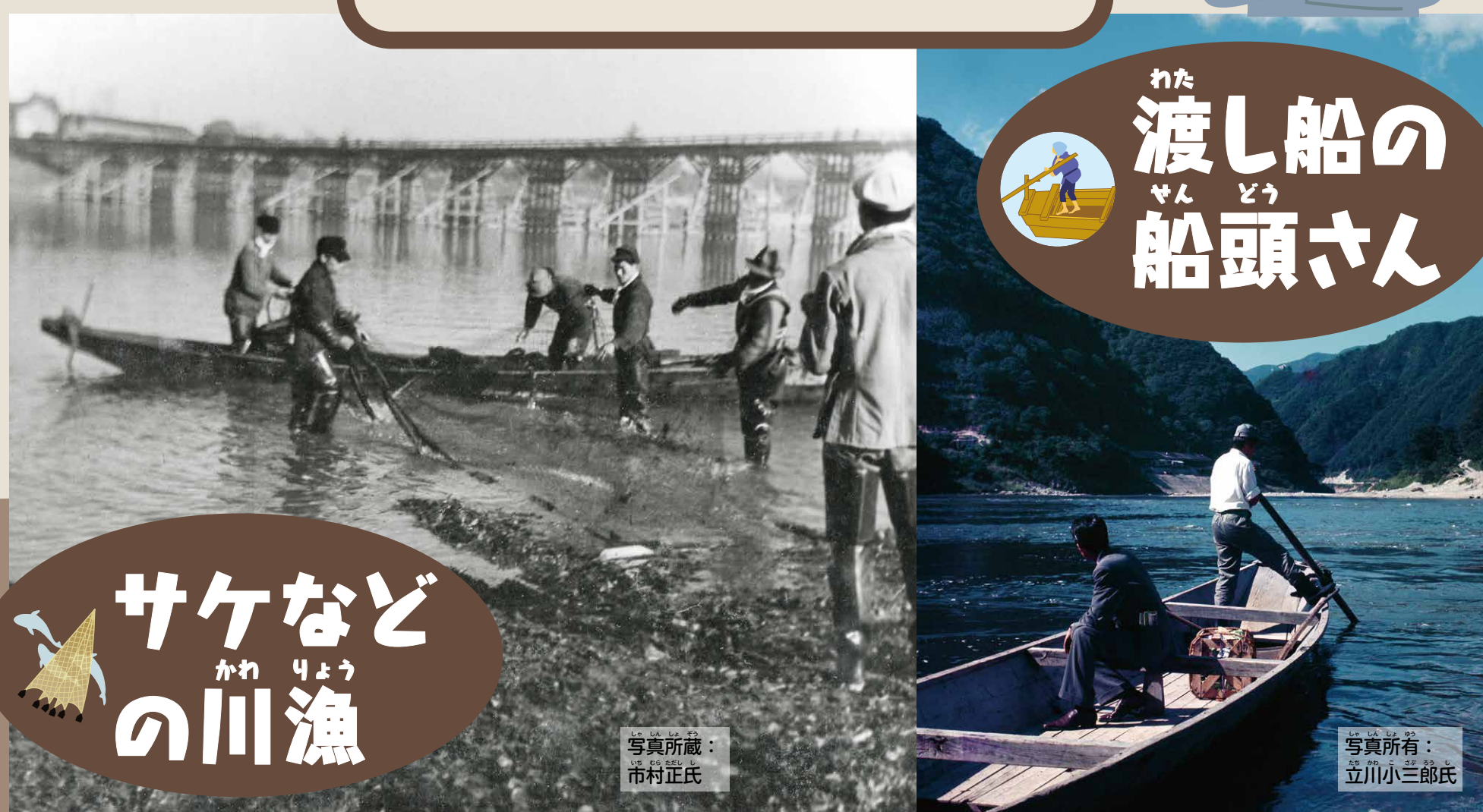
昔は阿賀野川で行う
仕事がたくさんあった
ため、今とはちがって、
多くの人々が阿賀野川
で働いていました。



いかだ
流し

▲阿賀町の川港を出発するイカダ流し

社会の変化とともに、
今では、ほぼすべての
仕事が、阿賀野川から
姿を消して
しまいました。



サケなど
の川漁

▲サケの地引き網漁の様子（新潟市江南区）



わた
せん とう
渡し船の
船頭さん

▲船頭さんと渡し船

Q パネル06をチェック!



かつて川砂利を運ぶ仕事をしていた人の話

私は、阿賀野市千唐仁の近くで、生まれ育ちました。
当時（昭和の時代）は、大きな川船を買って、阿賀野川
の砂利を運ぶ仕事をしていました。川船には小屋のよう
な船室があって、一年のうち半年近くも船の中で生活し
ていたんですよ。よく、阿賀野川の水をくんでお米を炊
いたり、川魚をとって食べたりしていました。



写真提供：阿賀野市小浮の住民

▲川砂利を運ぶ川船と、小屋のような船室